

平成27年度 学校評価アンケート（教職員）結果について

平成28年2月2日 全日制

【学校教育目標】

- ・個性の確立と伸長に努め、合理的思考や態度を養い、創造力を培う。
- ・基礎学力の向上に努め、進路に関する適正な指導を図る。
- ・相互協調と信頼の念を深め、個人と集団の調和を保つことのできる情操豊かな人格を育成する。
- ・健康で明るく、勤労を尊び、強固な精神力をもつ人材を育成する。

【今年度の評価結果】

1 上位項目

- (1) 教育目標の設定と評価 質問項目1(4.9)
個々の生徒の進路希望実現に向けた様々な取組が適切に実施されているとともに、適切に評価・改善が図られている。
- (2) 学校の特色(S S Hや医進類型)を考慮した教育課程の編成 質問項目12(4.8)
普通科への波及として、「探究活動」を取り入れたことを受け、S S Hに関する項目(13・14・15)の評価が飛躍的に上昇した。
- (3) 進路指導の方針の明確化、説明 質問項目21(4.8)
統一学校説明会を初めとして進路情報の積極的発信に努めるとともに、学年ごとの保護者懇談会及び三者懇談の実施により、個に応じた指導が推進されている。

2 下位項目

- (1) 学年・分掌・教科間の連携 質問項目4(3.8)
各学年は毎週火曜日放課後、教科は共通の空き時間を設けるなど、定期的に部会等を設定しているが、それぞれの分掌等がどのような会議を行なっているかが不明確である。
- (2) シラバスや生徒による授業アンケートを有効活用した授業改善 質問項目17(3.8)
S S Hに関する各取組を通して、生徒の学習意欲・能力の向上は図られているが、各教科・科目におけるシラバスや生徒アンケートの実施方法・内容について見直しが求められている。
- (3) 地域の活動・行事への積極的参加 質問項目30(3.4)
ホームページによる各部活動の活動は徐々に周知されつつあるが、全校的に推進するまでには至っていない。

3 昨年度と比較して特に下がった項目

- (1) 効率的な学校運営に向けた組織や業務の改善 質問項目3(4.1←4.4)
- (2) 知・徳・体のバランスのとれた人間形成 質問項目7(4.0←4.4)
教育相談活動は適切に行われている(質問項目19・20)が、特別委員会で審議する生徒が年々増加傾向にあり、担当する教員の負担増となっている。

4 その他(自由記述)

- ・担任の先生方を初めとする普段の会話が少なくなっているような気がします。普段のちょっとした愚痴をさりげなく聞くのが一番大切なのではないでしょうか。

【次年度へ向けて】

- (1) 普通科探究活動の適切な評価・改善を行うとともに、S S H二期目の申請を見据えた取組の充実を図る。
- (2) 教員定数や各指定事業に係る加配人数等のバランスをとりながら、最大限の教育効果が発揮できるような校内体制の見直しを図る。